

『ミマモリングソフトウェア』 開発の経緯と活用事例②

第60号 2018年4月23日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていくよう
活動していきます。

株式会社カグヤ 奥山卓矢

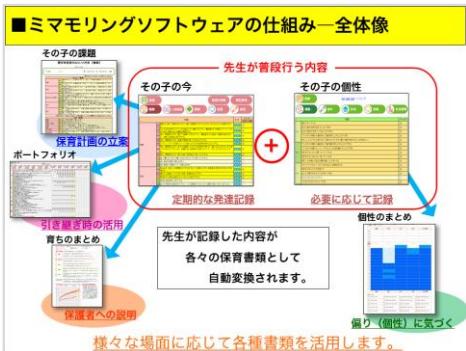
ミマモリングソフトウェア

前号に引き続き、『ミマモリングソフトウェア』の開発の経緯と
活用事例をお送りします。

ミマモリングソフトウェアは、子ども主体の保育を
実現させるために開発されました。

園児一人ひとりの今の姿、その個性を理解でき、個別の保育計画が
立てられます。育ちの経過が可視化でき、保護者への専門的な報告も
容易にできるソフトです。

ミマモリングソフトウェアを通して、子どもの発達を見守って
いくことで、自然と指針の内容が身につき、保育の質を上げていく
ことができます。



ポイント① その子の今（発達記録登録）についての概要を確認

A

B

内訳	ヒント	チェック	記録	印刷
保育者と一緒に様々な色や形の中の絵などを見る。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
赤、青、黄、緑など様々な色で絵を見て楽しむ。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
生き物の中でもう1種類、赤、青、黄、緑などに気がついたり、楽しむ。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アートで描く絵などを見たり、楽しむ。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
音楽と遊ぶ	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
音楽やリズム	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
身の回りの絵	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コメント (Rの横)				
課題：赤、青、黄、緑など色々な色で絵を見て楽しむ。 環境：手本用紙などの素材を使い、いろんな絵面遊びを体験できるようにする。 評議：				
コメント欄は100文字以内で入力下さい。 文章を消してご記入ください。				

C

Ⓐ5領域エリア

保育所保育指針等の5領域の内容に準拠しています。
0歳から卒園するまでの発達項目を領域ごとに並び変えたことで、今の発達と次の課題が明確に表示されています。

Ⓑ発達項目エリア

年齢ごとの発達様式ではなく、**0歳～6歳までの発達項目が縦に並んでいます。平成11年・平成20年・平成30年の指針の発達項目を網羅しているため、ミマモリングソフトウェアを通して、子どもの発達を見守っていくことで、自然と指針の内容が身につき、保育の質を上げていく**ことができます。

Ⓒヒントエリア

ヒントを押すと、**指針の解説書の内容**が表示されます。また、園独自の内容に書き換えることも可能です。

Ⓓコメント欄のエリア

先述した手書きの個別計画書類の課題を解決し、コメント欄に、**課題・配慮・評価**を記入することで、**手書きの個別計画を省力**することができます。

ポイント② 発達チェックを行う際の3つの視点

発達チェックを行う際の3つの視点

【視点1】子どもの理解としての視点
 その子が出来ているかどうか？

【視点2】先生自身を振り返る眼差し
【チェックをつけた項目について】
 今の発達に対して子ども自ら**存分に**その発達を**味わえる、三昧できる環境**があるでしょうか?
 例) ハイハイを始めた子が、十分ハイハイができる環境があるでしょうか?
 →環境がなければ、どのような環境が必要でしょうか?

【視点3】先生自身を振り返る眼差し
【チェックがつかなかった項目について】
 その子が出来ないのではなくて、**次の発達**に対して**子どもが主体的に発達**できる**環境**を用意しているでしょうか?
 →環境がなければ、どのような環境が必要でしょうか?

内訳	ヒント	チェック	記録	印刷
などに気付いたり、感じたり	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
いたり、感じたりするなどし	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
どに気づく。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
驚いたり感動したりする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ージを豊かにする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
中で気づいたり見つけたりし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
したこと、発見したことなど	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「その子の今」（発達記録登録）画面

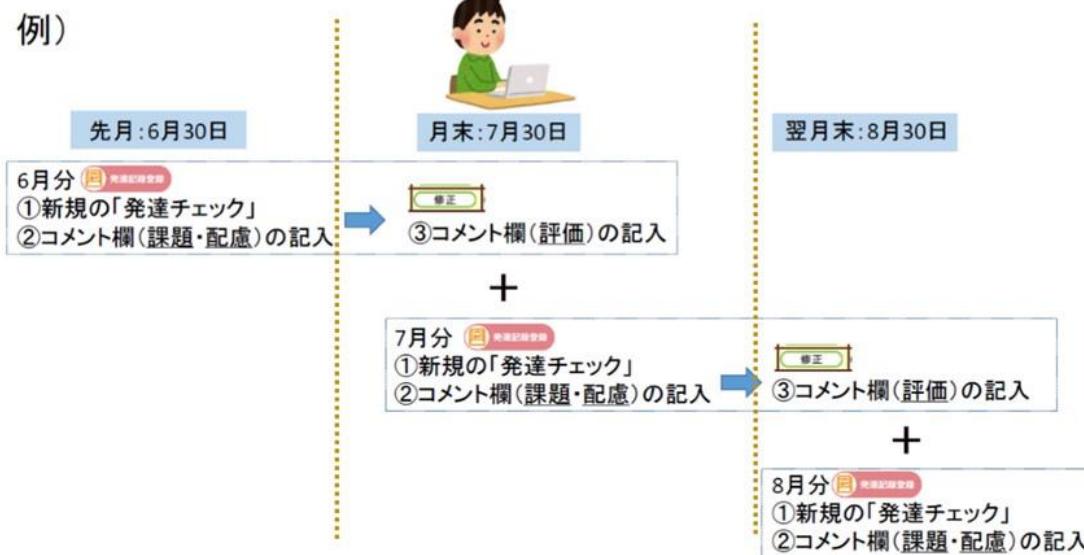
ポイント③ コメント欄の活用方法について

コメント欄の活用 3つのポイント

【課題】	【配慮】	【評価】
チェックがつかなかった項目の中で特に <u>これから寄り添っていきたい項目</u> や子どもが自ら行うには <u>環境が不足している項目</u> をピックアップ。	寄り添いや関わり方、どのような <u>環境</u> を用意していけばいいかを記入。 ※特に <u>保育者が直接やってあげる</u> のではなく、 <u>子ども自らできる</u> ようになるための「 <u>環境</u> 」に置き換えることを考慮します。	振り返って <u>気になること</u> 、 <u>気付き</u> などを記入。 ※配慮や評価については、「 <u>見守っていく</u> 」や「 <u>工夫する</u> 」といった抽象的な記述ではなく、左記例のように具体的にしていくと <u>以上児のコーナーやゾーン等の環境設定</u> や <u>乳児の個別月案</u> など保育としての活用が進みます。
コメント（次の計画）		

まとめ：毎月の発達チェック・コメント欄記入の流れ

例)



※チェック → コメント記入 → チェック → コメント記入
子どもの姿から発達を見て、課題にあった環境を用意していく流れ

■保育所児童保育要録の書類の代替えの背景

保育所児童保健要録					
ふりがな	姓 名	性別	年齢	年 齢	性別
保健用名(「保健用所」)	(所用名)	年 齢	性別	年 齢	性別
保健開始	年 月 日	～	年 月 日	～	年 月 日
子どもの両親に宛てる事項					
書類「生活の神経及び体格の安定」に記入する事項			(子どもの健診結果)		
備考欄					
被服	着用 (実際着用) 実際の着用				
便器	前もろく伸びと行動し、先見感覚あり。				
	自分で裤子十分に動かし、裤子で尿漏れしうる。				
	健康： 安定した生活に必要な適度な歩行を実現にける。				
人間関係	生活者と楽しみ、自分の力で行動するのを充実感覚うらう。				
	身近な人に親しみ、開けたりもり、愛着や保護感を持つ。				
	社会生活における豊富な経験をもつて、社会的適応性を有する。				
指導	おもに運動遊び、歩み、手遊び等の遊びで日々の運動に興味や意気をもつ。				
	おもに運動遊びに分かれ居り、絶えず走をしまねば、走りもす。それを主として走り回る。走り回るときに、物の性質や距離、形などに対する興味をもつ。				
直面	自分の気持ちを尊重して貰え、笑顔で接する。				
	人の言葉の読み方などをよく聞く、自分の経験などをことへ考えたりして、話し合いで意見を交わす。				
	本物の動物などに接し、本物との差異などをわかる。				
	いろいろなものの中のしなやかに対する興味や興味を持つ。				
直面	感じにこよやかさえたことを自分でひに表現して楽しむ。				
	おもに中止マークをかき、さまざまな絵を描く。				
記 記 番 号	(1)		直面保育士名		
以下の欄のうちから選ぶ事項は子どもが育ってきた経験と踏まえ、その全体像を捉えて総合的に判断すること。					

以下の理由から「教育（発達援助）に関する事項」を改善した記録を別途添付することにしました。

- 5領域という客観性が欠けるため、先生の主観で書いてしまう。
 - 発達ではなく、その子の「日常の姿」「特徴」に内容が偏ってしまう。
 - 今のその子の発達状況が把握しづらい
 - 普段の詳細に記録しているにもかかわらず、要録のために別途書かないといけない。（ＩＣＴで導入したシステムが活かせない、活かすことができないため、職員の業務が省力出来ない。）
 - フリースペースのため、5領域万遍なく書けない。

■保育所児童保育要録の書類の代替え方法

保育要録の特定の部分をミマモリングソフトから
出力できる書類によって代替えすることができます。

代替え可能な部分

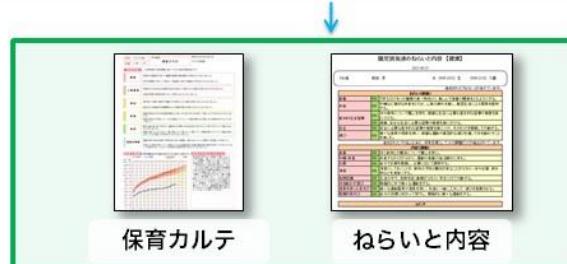
左図 [] の『教育（発達援助）に関わる事項』

ポイント1

記入欄に「別紙参照」と記入する。

ポイント2

「保育カルテ」または「ねらいと内容」を出力して添付する。



■保育所児童保育要録の書類の代替え方法

◎園児の『今の発達状況』を引き継ぎたい場合

→「保育カルテ」を添付してください。

卒園児について詳細な内容を伝えたい場合は右図 の「保育者からのメッセージ」欄に個別に引き継ぎたい内容をご記入ください。

◎園児の『次の発達課題』を引き継ぎたい場合

→「ねらいと内容」を添付してください。

卒園児について詳細な内容を伝えたい場合は右図 の5領域の各コメント欄に個別に引き継ぎたい内容をご記入ください。

■保育所児童保育要録の書類の代替え方法

市指定の様式

+



もしくは…



『保育カルテ』

※「保育カルテ」と「ねらいと内容」の両方を添付すると、
より丁寧な引継ぎ資料となります。

引継ぎの目的や重要度により何を添付するか園様でお選びください。

■保育所児童保育要録の書類の代替え方法

保育所児童保育要録											
ふりがな				姓	性別			就学年			
氏名								年	月	日生	
保育者名	(保育者名)			(保育者) 年 令及び所在地			年			月	日生
保健医名	平成 年 月 日			平成 年 月 日			年 月 日			年 月 日	
子どもの貴方に聞わかる事項											
書類(生の体調及び情緒の安定)に聞わかる事項										(子どもの健診状態)	
看護(看護計画)一覧欄の参考											
健 康	既往歴(出生時から現在まで)										
	<p>- 脊柱くびれ伸びと伸びり、歩行困難で年少う。</p> <p>- 自分の体を十分に動かし、強んで運動しようとせず。</p> <p>- 健康、安全な生活に必要な習慣と態度を身に付ける。</p>										
人 類 情 感	生活(自己の行動)										
	<p>- 生活を楽しむ、自分の力で行動することのため適度に練習をめぐらす。</p> <p>- お友な人と楽しむ、元気りに笑顔、愛憎の表現をもつ。</p> <p>- おじいちゃんやおばあちゃんなどお年寄りの方へ接する。</p>										
情 緒	社会性(社会的行動)										
	<p>- おひな祭り・花火大会・自然と触れ合う中で種々な事象に興味を持つ。</p> <p>- おひな祭り・花火大会・自然と触れ合う中で種々な事象に興味を持つ。</p> <p>- お友な人と楽しむ、元気りに笑顔、愛憎の表現をもつ。</p> <p>- おじいちゃんやおばあちゃんなどお年寄りの方へ接する。</p>										
言 語	個性(個性)										
	<p>- 自分の言葉で物事を説明するときも健やか。</p> <p>- お友な人と楽しむことより、自分の経験したことや考え方などを話し、伝えるうきはめわる。</p>										
表現	日常生活(日常生活)										
	<p>- 日常生活中に必要な事が分らるるうくなることによる経験の豊かさ。教科や家庭との連絡をもつる。</p> <p>- いろいろな方との会話をさぐりに対する感覚的な興味を持つ。</p>										
環境	感情(感情)										
	<p>- 感じることを喜んだことを自分なりに表現して楽しむ。</p> <p>- 全ての申立てイメージを尊重する、さまざまな意見を尊重する。</p>										
被扶養者名					扶養親族名						
(印)					(印)						
※(子どもの貴方に聞わかる事項)・(子午メモの記入欄)は、該欄を記入する。その他の欄は主として記入の範囲とする。											

保育要録の特定の部分をミマモリングソフトから
出力できる書類によって代替えすることが出来ます。
代替え可能な部分：

左図□の『教育（発達援助）に関わる事項』

ポイント

- ①記入欄に「別紙参照」と記入する。
②保育カルテを出力して添付する。



保育カルテ

- ・新指針に沿った内容で、5領域満遍なくその子に関する育ちに関する事項を表すことにした。
 - ・ＩＣＴのねらい①職員の業務の省力②質の向上の観点から導入したＩＣＴの記録を使って、普段の保育記録が活かされる仕組みとした。
 - ・保育者からのメッセージにその他特記する内容を用意し、発達状況と特記事項を明確に分けた。

■発達チェックの事例

4歳児 24名 年3回の発達チェックのケース

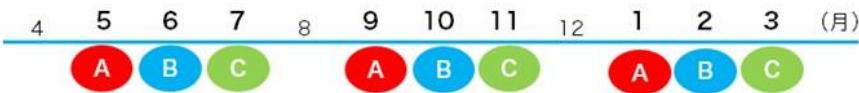
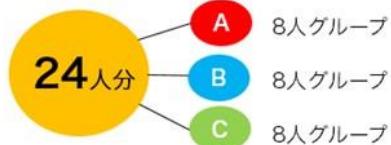


期ごとに発達チェックをしている場合、多くは学期末にクラスの人数分の発達チェックを行っていることをお聞きします。そこでの苦労をお聞きすると、時期が来たので、しないといけないものになってしまい、チェックが大変！

そこで

定期的に「卒園までに育てたい10の姿」の確認にも繋がります。

ある園での実践事例として、まずクラスの人数を3等分に分けます。園児にとっての3ヶ月に一度の頻度は変えず、発達チェックを行っています。



新指針が適用されたことに伴い、以上児の先生方もミマモリングソフトに触れる機会が増えるとその分、新指針の内容が自然と身についていきます。

■発達チェックの事例

1歳児 図写12名、保育士4名で毎月発達チェックのケース

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 (月)

担当園児3名を毎月発達チェック

○先生
△先生
□先生
△先生

クラスの中で発達チェックをする担当園児を決め、毎月発達チェックをしている場合、この発達チェックで本当にいいのだろうか?と不安を感じることがあるときあります。

そこへ

A先生が担当している園児 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
B先生が担当している園児 B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
C先生が担当している園児 C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
D先生が担当している園児 D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

1人の内が1ヶ月毎に子の発達チェックをするではなく、発達チェックを行う園児をシャッフルすることで、複数の先生の目で、園児一人ひとりの発達状況を把握することが出来ます。また、チーム保育を行っていく上で、先生同士の発達理解の向上もつながります。

『ミマモリングソフト』を通して思うこと

3法令改訂に伴い、2017年4月より『ミマモリング』は、バージョンアップに向けてプロジェクトが始動しました。

10年に一度の改訂は、社会の動向に沿った形で新たに変わっていきますが、子どもの発達が大きく変わることはありません。

その中で、3法令を読み込み、乳児の3つの視点や卒園までに育てたい10の姿など、新たに加わった内容をどうシステムに落とし込むかという話合いを何度も重ねました。

これは、カグヤ社内のスタッフだけで行えることではなく、現場の先生方やシステムの方、デザイナーなど多くの方を巻き込む形で行われました。

『ミマモリングソフトウェア』というシステムの形ではありますが、知れば知るほど、深く関わるほどにただのシステムではなく、3法令を深く学べるものであり、子どもの発達を理解し、保育計画に生きるものであると実感するのです。

それは先生方と話をしたり、現場での実例を聞けば聞くほど、更に実感するものであり、今回『ミマモリングソフトウェア』のバージョンアップに伴い、開発の経緯と活用事例について改めて整理しお送りしました。

ただのチェックでは終わるにはあまりにももったいなく、今後も事例を集め、発行していきたいと心新たにしたところです。

(報告者：株式会社カグヤ 奥山卓矢)



〒161-0023

東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビルディング2号館10階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、
QRコードからお願いします。